

# 育成センターだより

編集・発行 千曲市少年育成センター  
事務局：千曲市教育委員会 生涯学習課内  
お問い合わせ：TEL 273-1111 内線 6341

## 【児童・生徒の教育相談】

- \* 相談日・時間  
土・日曜日及び祝日を除く毎日  
AM9:00～PM5:00
- \* 場 所  
市総合教育センター内（埴生中学校敷地）  
教育相談センター  
電話相談・面接相談 273-5105（直通）  
(秘密厳守)

## 【青少年の生活相談】

- \* 相談日・時間  
原則として月・水・金曜日とします  
AM9:00～PM4:00（要・予約）
- \* 場 所  
千曲市役所 戸倉庁舎 3階  
少年育成センター（生涯学習課内）  
電話相談・面接相談 273-1111（内線 6344）  
(秘密厳守)

### 今月の家庭の日2月19日（日）

残された三学期の日々が充実したものとなるように学習への取り組みを励まし、また、規則正しい生活ができるよう、家族全員で応援しましょう。

### メールでも相談をお受けします

（24時間受付）

[E-mail : youth@city.chikuma.nagano.jp](mailto:youth@city.chikuma.nagano.jp)

相談員がメールでお答えします。  
(秘密厳守)

## 少年補導委員一年目

更埴地区少年補導委員

昨年のノーベル文学賞を、米国のボブ・ディランが受賞したことは記憶に新しい。小半世紀前、私の青春時代に大きな影響力を与えてくれた一人である。また、日本のフォークソング界においても、ボブ・ディランに影響を受けたシンガーソングライターが数多く誕生し、社会に多大なメッセージを投げ掛けた。アメリカはベトナム戦争という大きな問題を抱え、日本では学生運動が連日新聞を賑わし、長野県においては浅間山荘事件という痛ましい事件が発生した。

高校時代、運動部だった私は、文学にも学生運動にもさほど興味もなかった。そんな頃、同じクラスで新聞班に所属していたN君の、「我々も成田闘争に参加しよう…。」という呼び掛けに、「俺には興味が無いから。」と言った反面、「奴は、すでに社会と向き合っているんだ。」と、シヨックとジェラシーを感じたことを思い出す。

大学に入ってから、親からの仕送りを切り詰めてギターを購入した。毎日、ラジカセに録音しておいた曲を耳で覚え、その曲をコピーすることや、ディランの「風に吹かれて」を始めディランに影響を受けた岡林信康の「山野ブルース」「チューリップのアップリケ」を歌うことで、自分なりに社会と向き合うことができたのだと実感し、初めて安堵感すら覚えたことを思い出す。

今年度、千曲市より少年補導委員を委嘱され、正に一年生。自分も通ってきたであろう小・中・高校生と触れ合う中で感じることもある。何よりもまず、友を大切にしたいということだ。そして、時にはしっかりと時代と向き合い、自分を大切にゆっくりと成長してほしいと願う。

第3日曜日は家族ふれあう「家庭の日」 増やそう会話、つくろう思い出！  
— おさなごが親から学ぶ良きマナー —

## ～ 1月の定例補導委員会議より～

1月11日に、定例補導委員会が開催され、以下の事項等について協議・連絡を行いました。

### 1 千曲警察署生活安全課より

- ・「長野県子どもを性被害から守るための条例」は県民運動あつての条例。引き続き取り組みを。
- ・「酒・タバコ」は、未成年と分かっていると与えたり販売したりすることは法律違反。公民館・公園等の敷地やトイレでの喫煙による少年補導がある。設置店舗や周囲の力を借りて防犯したい。

### 2 補導センター活動状況・声かけ事案の認知状況について

### 3 11・12月の補導活動を振り返って：通常補導・店舗巡回・大頭祭特別巡回

### 4 1～3月の補導計画について

①通常補導 巡回時間：午後3時～5時

②長期休業中（年度末）の補導委員と学校職員・PTA役員との合同補導：午後3時～5時

### 5 一年間の補導活動を振り返って：次年度に生かすためアンケートを実施

### 6 第13回人権を守る市民集会について 1月14日（土）実施 更埴文化会館

※補導委員学習会を定例会前に実施：「長野県子どもを性被害から守るための条例」について



## 補導日誌から



### 地域を盛り上げる大頭祭

12月12日（月） 3:00pm～5:00

大頭祭3日目、とても天気の良い日でした。屋代駅から八幡の武水別神社へ向かいました。中日でしたので、さすがににぎやかな祭日になっていました。多少のゴミは散らかっていましたが、特に問題なくパトロールができました。この伝統行事も、馬やリヤカーを使っていた時代から今は軽トラック等になり、ずい分様変わりしました。宝船の車から投げられる御供や福袋を、大人も子どもも一緒になってキャアキャア言いながら取り合いをしており、とても楽しそうでした。地域が一体となる、これからも残したい貴重な伝統行事だと思いました。

### 大頭祭に浸る子ども達

12月14日（水） 3:00pm～5:00

八幡宮の鳥居前から神社境内の巡回を行いました。宝船からまかれる御供を、子ども達も頂いています。普段の学校の行事とは趣を異にして、地域に帰って解放された子ども達は、どの子も心底楽しそうに祭りに参加していました。こうした伝統行事に参加することで、地域の歴史や文化も少しずつ学んでいけるのではないかと思います。

### 施錠のない自転車が心配

12月19日（月） 3:00pm～5:00

福井公民館から巡回を始めました。人気はありませんでした。続いて戸倉東公園に向かいました。入口手前で、子ども達が先に挨拶をしてくれました。ほほえましく感じました。内川公園に行ってみると、児童6人が寒さに負けず元気よく走り回っていました。4時20分には帰宅するとのこと、寒さで人気のない公園が多い中、とても頼もしく思いました。

### 個人の自由では済まないことも

12月19日（月） 3:00pm～5:00

高校生の男女交際は、あっても不思議ではありません。しかし、一緒に駅を利用する中学生がいる場

所では駅員さんも気を使うそうです。眉をひそめるような状況の時に、対処に困ってしまうそうです。注意の仕方によっては、相手に話が通じずトラブルになってしまうこともあるのだそうです。

### 「私の大切な自転車」になっていて欲しい 12月21日(水) 3:00pm~5:00

屋代駅から巡回を始めました。トイレや駅舎内には問題はありませんでした。しかし、相変わらず放置自転車がありました。千曲駅に回りました。ここでは放置自転車が12台ありました。駅員さんの話では、連絡のできる人へは連絡をしているが、引き取りに来ないそうです。また、乱雑に駐輪していくので困るとの事でした。巡回した時もそのように置いてある自転車がありました。

### 挨拶が返って来る気持ちよさ 12月21日(水) 3:00pm~5:00

更埴中央公園には、数人の子どもと親子連れがいました。すべり台で遊んだり、サッカーなどをしたりしていました。挨拶をすると、親子で挨拶を返してくださいました。五十里公園にも女の子が3名で遊んでいました。ここでも挨拶をすると、しっかりした挨拶が返ってきました。

### 周囲を明るくしてくれる子ども達 12月22日(木) 3:00pm~5:00

屋代駅前通りの街路樹に、ミニサイズのクリスマスツリーを子ども達が飾っていました。埴生小学校の3年生3クラスの子ども達(約70人~75人位)が、強風の中手作りの作品を先生の指導のもと、街路樹の枝に付けていました。10人位のグループに別れて作業をしていました。飾り付けの時に風が強くと子ども達も飾り付けるのに苦労していたようです。子ども達と先生に、「ご苦労さん、立派なツリーですよ。」と声をかけました。達成感に浸っているようで、子ども達の自慢げな笑顔が印象的でした。

### かぼんの持ち主、立派です 12月22日(木) 3:00pm~5:00

伊勢宮公園で、更埴西中学校の2年生の女子2人が、仲よくブランコで無邪気に遊んでいました。乗っていて楽しいかと、声をかけました。「気分は最高！」と明るい返事が返ってきました。この子たち2人とは小学校の1年生からの付き合いです。子ども守り隊からの付き合いなのです。早く帰って勉強しろよと話すと、「もう少し遊んで、しばらくしてから帰る。」と返事がありました。辺りを見ると、2人の「かぼん」が公園内にある台の上に整然と置いてありました。



## 編集室の窓

### 「ごめんね」と言える時はある

バドミントンのラケットを使う使わないから始まった大ゲンカ、見ると1対4なのですが、1人が4人を追いかけて回しています。時に4人の反撃もあり、ラケットを振り回しながらのチャンバラ状態に。仕方ありません、大人がケンカに割り込みました。お互いに「俺は悪くない」というのが、その場を支配している空気でした。どちらも「ごめんね」が言えませんでした。自分からは絶対に謝れない、その子なりの理由があるようです。謝り、許すきっかけがなかなか持てませんでした。周囲を巻き込んだ1対4のケンカは、いろいろな場所へ移りながら1時間程続きました。

その大ゲンカが突然終わって、5人が帰ってきました。なんと、一緒にバスケットを始めようとしています。「みんなで(お互いに)謝ったから」だそうです、大人の仕切りではなく、子どもだけで決着をつけたそうです。しばらくの間、バスケットで楽しんだ子ども達でした。

帰り際、1人で4人と対決していた子がわざわざ言いに来ました、「もう仲直りしたよ」と。あの大ゲンカが嘘の様です。大ゲンカをしながら、それでも先へ進める知恵を身に付けていく子ども達です。

子ども達が、粘り強く意欲的に取り組んでいくためには、夢や目標をもち、その達成に向けて取り組むことが何よりも大切です。今の子ども達には夢がない、と言われていました。そんな子ども達が、どんな夢をもち、どのように立ち向かっていこうとしているかを紹介します。

将来の夢

5年 新村 七瀬

私は将来、サッカー選手になりたいです。そのきっかけは、サッカーをやっている兄が、試合で点を入れた時、かっこいいと思ったからです。そのすがたを見て、私も試合で点を決めたいと思ってサッカーを始めました。

サッカーは、相手からボールをとったり自分で攻めていったりするところが楽しいです。わたしは、練習で相手にボールをとられないように、ドリブルをがんばっています。細かくボールをタッチして、スピードを上げるのを意識して練習をしています。

わたしがサッカー選手になるために、これからもドリブルの練習やシュートの練習を続けて、澤選手みたいにドリブルがすばやく、ディフェンスもうまい、全力でプレーする選手になりたいです。



わたしの将来の夢

5年 中村 美紅

私の将来の夢は、産科医になることです。

はじめは、保育園のころにけがをして行った病院の看護師さんがとても優しく手当てしてくれたので、看護師になりたいと思っていました。でも最近、産科医というお医者さんがいることを知りました。私はそのときに、産科医はなんてすごいお医者さんなんだろうと思いました。命が生まれる瞬間を手助けするお医者さんなんてとても少ないし、とてもかっこいいと思います。今から努力できることはたくさんあると思うので、これからもどんどんがんばって、いろいろなことにちょうせんしていきたいと思います。



私の夢

5年 岩佐 季里

私の夢は、気配りのできる看護師です。全ての患者さんに優しく、患者さんの具合が悪いところを治すために、手助けもしっかりできる人になりたいです。私の母は、看護師です。だから家族の中でも、具合の悪い人がいれば、きちんとどうすれば良いのかを教えてください。その時も、必ず優しく心配しながら、笑顔で言ってくれるから、具合が悪くても「がんばろう。」というように前向きになれます。また、病院ではいつもの母ではなく、患者さんとちゃんと向き合いながら、てきぱきと働く看護師の母がいました。母は、仕事から帰ってくると、今日病院でどんなことがあったのか話してくれることがあります。大変な一面もあるけど、楽しいということはすごく伝わってきます。私は、家族の前と仕事の時とはちがった、かっこいい母にあこがれて、看護師になりたいと思いました。看護師までの道は長いと思うけど、最後の最後まであきらめず、夢を叶えたいです。そして、患者さんの病気を少しでも良くさせて、笑顔になってもらいたいです。

